

2025 年度 公募推薦 出題意図

【英語】

公募推薦は、本学で学修するために必要な知識・技能，思考力・判断力・表現力といった基礎的な力を備えているかを評価します。

語彙やイディオム，各種構文などについての基本的な知識を確認するための問題，短い英会話を読んで，英語で適切に受け答えができるかを問う問題，短めの英文を読み，そこに含まれる情報を的確に把握できるかを問う問題です。読み取りが求められる情報は，オンラインストアの広告文のような実用的な内容，あるいは何らかの話題についてのメール文など多種多様です。

こうした多岐にわたる場面に対応できる実践的な英語力を測ることがこの問題の意図です。

以上のような多様な出題により，受験生の基礎的な英語力を測ることを目的にしています。

【国語】

本入試制度の国語の問題は、文章題（長文問題）と、漢字や語句に関する問題から構成されています。

文章題は、主に受験者の読解力を判断するために設けています。比較的文字数の少ない題材を用い、その主題や表現されている内容を読み取れるかどうかを判断する問題を作成しています。具体的には、選択肢の内容が題材と合致しているかを問う問題、文章全体の要旨を問う問題などです。

漢字や語句に関する問題は、基礎的な国語力を判断するためのものです。漢字の読み・書き問題や、四字熟語、慣用句などに関する問題によって、受験者の知識を測り、基礎的な国語力を判断することが狙いです。

【数学】

公募推薦の数学においては、まず高校の数学Ⅰ・Aの教科書の練習問題程度の基礎力が身についているかを幅広くチェックします。大問の題の数はやや多めとしている反面、ある小問の答えを次の小問で流用するというものは少ないです。単なる計算問題ばかりではなく、数学の応用力を測る文章題も出題されます。文章を的確に読み取って計算式が立てられるかを問います。数学Ⅰでは特定の単元が出題されないということはなく、「データの分析」の単元からも必ず出題があります。統計値の算出だけでなく、用語の知識を問う問題やグラフの読み取りの問題もあります。